

＜ もくじ ＞	
1. 会長メッセージ：緊急事態宣言を受けて	1
2. 緊急のお知らせ—6月14日（日）総会・大会開催の変更について	2
3. 各研究会の開催日程のお知らせ	3
4. 研究会の概要報告	3
5. 事務局からのお知らせとお願い	4

1. 会長メッセージ：緊急事態宣言を受けて

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月7日安倍晋三首相は改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく初の「緊急事態宣言」を発令しました。首相は、「人と人との接触機会を8割削減できれば、2週間後には感染者の増加を減少に転じさせることができる」という専門家の見通しを紹介し、「効果を見極める期間も含め、一か月に限定して外出自粛をお願いする」と述べています。



日本で、新型コロナウイルスの感染が知られるようになったのは、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客に患者が出たことがきっかけでした。それ以前から武漢において、海鮮市場からワクチンも治療薬もない新型のウィルス感染が発生しているという報道はありましたが、新聞の扱いは小さく、多くの日本人にとって対岸の火事でした。初期には、重症化し、死に至る人が高齢者に偏っていたため、若者たちは自分には関係がないと思っていたようです。実際、テレビのニュース番組でインタビューされる若者たちは、「俺らには関係ない」と公言していました。しかし、その後、欧米における感染拡大が報道されるようになり、若者や幼児にも感染が拡大し、重症患者も出ていることが判明し、感染は世代を超えて拡大していることが明らかになりました。

ウィルスの誕生は人類の歴史よりも古く、人間は常にウィルスと共存してきました。蚊や野生動物から人間にウィルスが感染するようになったのは、人間が自然を破壊した結果であり、いわば自然からの復讐だと指摘する人もいます。生活の利便性や快適さを求めて、自然を破壊した結果が、異常気象や頻発する自然災害をもたらしました。グローバルゼーションは、情報や物資の流通を加速する一方で、ウィルスの感染も瞬時に世界に広がることになりました。新型ウィルスの感染拡大は、これまでの生活や価値観を見直す契機になるかもしれません。

新型コロナウイルスの感染拡大が、一か月の外出自粛で終息するとは思われません。シニア社会学会では6月14日に予定されていた大会を延期し、総会は電磁式で行うことになりました。今年は設立20周年という記念すべき年にあたりますので、何とか本年度中に大会を開催したいと考えております。

若者世代にも感染が広がっているとはいえ、持病のある高齢者は重症化しやすいとされています。高齢者の多いシニア社会学会の皆様は、手洗い、うがい、マスクの着用につとめ、不要不急の外出をお控えくださるようお願いいたします。

一般社団法人シニア社会学会
会長 袖井孝子

2. 緊急のお知らせ—6月14日(日) 総会・大会開催の変更について

新型コロナウイルス感染が世界的規模で拡大したことにより、本年度の当学会のスケジュールは、大きく変更を余儀なくされる事態となりました。

2020年度は当学会設立20周年にあたり、理事会、運営委員会では学会大会も特別の意味を持つイベントを企画し準備を進めてまいりました。しかしながら、この時期に至り大変残念ではありますが、6月14日(日)にお茶の水女子大学で開催することには困難な状況となりました。

<1>「2020年度総会」：議決権行使の方法

2020年度総会は、6月14日に会員にお集まりいただいて開催することが困難となりました。総会議案の議決につきましては、電磁式(電子メール)および郵送を組み合わせた方法による議決権行使をお願いすることになると思われます。後ほど手順の詳細についてお知らせいたしますので、ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<2>「創立20周年記念大会」：今年度内での延期

他方、2020年度第19回大会ですが、世界の経済・政治状況の大きな変化と日本の超高齢化社会という特殊事情を背景にした、当学会の20周年という特別な年でもあることを見過ごすことはできません。現時点では、とりあえず、今年度中(2021年3月まで)に何らかの形で「20周年記念イベント」として開催する努力を続けることを会員の皆様にお伝えし、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。企画内容の概要は以下の通りです。プログラムを作成いたしました。若干の変更を余儀なくされるため、改めて詳細が決まってからお知らせいたします。

創立20周年を記念する2020年度大会では、これまでの20年の学会活動を振り返るとともに、これからの学会のあり方について袖井孝子会長に基調講演をお願いし、その後、濱口晴彦副会長、神野毅副会長、袖井孝子会長による鼎談を予定しております。引き続き、会場の皆様とともに、これからの学会のあり方について建設的な議論となる場になるよう企画を練っております。

会場は、昨年度までお世話になった駒澤大学から「お茶の水女子大学」に変更になります。教室は未定です。プログラムの詳細が決まりましたら改めてお知らせいたします。

- (1) 日 時：2020年度内
 - (2) 会 場：お茶の水女子大学を予定(借用可能性については未定)
 - (3) 大 会：創立20周年記念大会
 - 1) 基調講演 「シニア社会学会のこれまでとこれから」 袖井孝子(当学会会長)
 - 2) 鼎 談 創立20周年を迎えて「シニア社会学会のこれまでとこれから」
濱口晴彦(当学会副会長)
神野 毅(当学会副会長・ナルク会長)
袖井孝子(当学会会長)
- 総合司会：長田攻一(当学会事務局)

3. 各研究会の開催日程のお知らせ

- (1) 第125回「社会保障」研究会
5月の開催日は未定です。
- (2) 第19回「ライフプロデュース」研究会
5月の開催日は未定です。

(3) 第9回「社会情報」研究会

5月は状況を見て判断します。

(4) 第62回「災害と地域社会」研究会

5月の開催日は未定です。

(5) 第7回「YNS やまぶき任意後見サポート会」研究会

6月まで休会します。

(6) ガバナンス研究会

7月まで休会します。

(7) 第74回「シニア社会のリテラシー」研究会

7月まで休会とし、9月に再スタートします。

4. 研究会の概要報告

(1) 第6回「YNS やまぶき任意後見サポート会」研究会報告

1) 日 時：2020年3月28日(土) 18:30~20:00

2) 場 所：きゅりあん(品川区総合区民館F4研修室)

3) 発表者：鈴木真澄

4) テーマ：「人形劇を観ながらミライを学ぼう」

YNS やまぶき任意後見サポート会は、人々の尊厳を尊重し、住み慣れた地域の中で安心して共に暮らせる社会の実現を目指している任意の集まりの会です。団扇で作った手作りの人形劇でわかりやすくPR活動をしています。

最近では、新型コロナウイルスの感染症のため、外出する方が減少してきています。この感染症はインフルエンザ等に比較するとなんだかよくわからないウイルスなのでより不安になるのではないのでしょうか。それが、人々を委縮させていると思います。本会も今後6月を目途に休会にいたしました。

1. 市場分析

我が国は、世界で類例のない高齢社会を迎えている。厚生労働省の推計によると2025年(5年後)には65歳以上の人の認知症は730万人と言われている。予備軍と合わせると1300万人超になる見込みです。



厚生労働省 資料

2012年以降、オレンジプラン、新オレンジプラン、認知症施策推進大綱という3つの認知症国家プランが策定され「認知症になっても本人の意思が尊重され、できるかぎり住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指す」ことを基本目標としました。しかし、高齢者の40%が独居と言われている状態では非常に難しくなっているのが現状です。

このことを踏まえて平成28年4月に成年後見制度利用促進法が成立しました。

この法律は、成年後見制度の利用の促進について基本理念を定めた成年後見制度の利用の促進に関する法律である。そして成年後見制度は、認知症、知的障害などの理由で判断能力の不十分な方への保護、支援をする制度です。

2. 地域で見守っていく体制づくり

スーパーの効率性が商店街を押し潰してしまったように、昔ながらの商店街の伝統や商いの頑固さを維持していくことはもはや通用しないことに気づかなくてはなりません。

これからのまちはみんなで見守りができるまち、支え合う風土があるまち、であることが大切だと思います。

5. 事務局からのお知らせとお願い

当学会事務局では、2月26日（水）から、新型コロナウイルス感染問題への対応上、事務局出勤を控えさせていただいております。JAASNews 第249号につきましては、自宅作業により対応しております。事務局会議や運営委員会なども、議題に応じてメールによって行うこととさせていただきます。研究会の開催につきましては、各研究会に会場やメンバーの状況に応じて開催の判断をさせていただきます。

今後も不測の事態が予想されます。皆様にはご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（原則は水、および月または金オープン）
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202
電話&FAX：(03) 5778-4728
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/